

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和6年（2024年）3月11日

事業所名 C-S LAB LIFE

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・面積等の設置基準は十分満たしています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・指定基準以上の人数の職員（保育士、児童指導員、作業療法士）を配置しています。	
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	○		・段差を極力なくし動けるスペースを設ける等、障がいの特性に合わせた配慮や工夫をしています。	・更に室内の構造化や個々にあったスケジュールを組んでいくようにいたします。 ・お子様達が危険なく快適に過ごすことができるように日々の点検を続けて参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・療育終了後に毎日の清掃行っています。 ・定期的に室内の換気を行っています。	・清掃等の取組状況、施設の環境について、保護者の皆様には契約時、丁寧にご説明させていただきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・毎日振り返りをし、計画→実行→評価→改善を行って次の療育に繋げています。	・全職員に PDCAサイクルの周知徹底を行います。
	⑥	保護者向けの評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・毎回御利用時にご意向を伺っています。 ・今回のアンケートにていただいたご意見を業務改善に反映させたいと思っています。	・保護者様から忌憚のないご意見をいただけるよう、またそれに対して迅速に対応し、業務改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・各評価表の結果を全職員で討議し、より良い支援に繋げていくようにしています。 ・各評価表の結果及び対応などを熊本県ホームページで公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・今後、外部評価を行っていき、より良い業務改善に繋がるよう努めていきたいと考えています。

適切な支援提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修や勉強会にも積極的に参加しています。	・職員が研修会に参加した場合は他の職員へ学んだ内容を伝える機会を作っています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・毎日、保護者様とは聞き取りや連絡帳のやり取りで、お子様の状態を把握し、個別支援計画に反映させています。 ・個別支援計画は、保護者様と必要に応じて関係機関からも出席いただいて会議を開き、話し合ったうえで作成しています。	・個別支援会議においては、保護者様からの課題やご希望をしっかりと聞き取り、お答えするようにしています。 ・保護者様のご希望に応じ、他事業所や相談支援事業所へ資料提供を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・子どもの状況に応じ基本のアセスメント及び、JSI-3D等のアセスメントツールを使い分けて使用しています。	・今後、これまで以上に適応行動の状況を図るよう体制を整えていきたいと考えています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている			・計画作成において特に5領域に沿った支援内容を考え、又、状況に応じて家庭支援、地域支援も取り入れて作成しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか			・計画を都度、全職員で確認し計画に沿った支援の提供に努めています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・日々の活動プログラムは療育に関わる職員が参加して打ち合わせをしています。 ・予定表の立案は管理者が他職員の意見を聞きながら作成しておりますがスタッフ同士で十分に話し合っています。 ・何に狙いを設定し活動するかを立案しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○		・日々の活動を固定化せず、システムをルーティン化しています。	・お子様が日々のプログラムの変化を楽しめるように更に工夫して参ります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・障がいの特性を考慮し、各個人の状態に応じ、個別→小集団→大集団にて取り組める様に計画を作成しています。	・お子様によっては、集団参加をする前段階の支援が必要な方も多くおられ、将来、集団活動ができるための大切な支援である事を保護者様にもご説明いたします。 ・お子様の状態を見極め、集団活動を意識して取り入れるように努めて参ります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	○		・職員同士のチームワークが重要と考えており、当日の担当、役割を十分に打合せ、確認をしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後にお子様の共通理解を図るために、十分な振り返り、意見交換を行っています。 ・翌朝の朝礼で行っています。	

関係機関や保護者との連携	①9	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・連絡帳や個人記録を記載し支援の改善や目標の進捗状況を確認しています。	
	②0	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・定期的に個別支援会議を開催し、個別支援計画の評価及び見直し、新たな計画を作成しておりモニタリングも兼ねています。 ・保護者様とは密に連絡を取り合い、必要であればその都度見直しを行い臨機応変に対応を行っています。	
	②1	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		・障がい児相談支援事業所の依頼に可能な限り対応し参加しています。その際はお子様のことを熟知している児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。	
	②2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要なケースは連絡を密に行うようにしています。	・今後も更に連携を深められるように努力して参ります。
	②3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		・今後も、保護者様のご了解のもと、積極的に連携した支援を行って参ります。
	②4	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか		○	・医療的ケア児がいない	・今後、医療的ケア児を受け入れる体制を整えていこうと考えています。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	・移行したケースがまだありません。	・今後、移行していく事を考え、障がい福祉サービスや学校との情報交換を更に深めていきたいと考えています。
関係機関や保護者との連携	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・可能な限り参加を行っています。	・今後も担当者会議等で積極的に他事業所と連携して参ります。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				

保護者への説明責任	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・地域の児童の支援に関する会議に参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		・毎回お迎えの際に保護者の方と直接話をしたり、連絡帳で療育内容や状況を伝え合っています。 ・ご希望や必要があれば時間を設けてご相談を受けています。	・保護者様と職員間で、お子様のことを正しく共通理解できるように、更に伝え方も工夫して参ります。 ・保護者様の御相談の御希望に添えるよう一層配慮して参ります。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		・今後は保護者勉強会や個別面談を行う機会を検討していきたいと考えています。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・ご契約時に重要事項等によりご説明しています。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・作成するにあたり、保護者様出席の会議を開催し同意を得ています。又、支援内容も十分に説明を行い同意を得ています。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・担当者会議や日々の療育、連絡帳の中で、ご相談に対応し、効果的な支援や助言を行っています。	・保護者様と積極的にコミュニケーションを取り必要な支援が出来るように努めて参ります。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今の所、父母の会等は開催していませんが、同じ学校等の保護者へは情報を共有したりと連携を図っています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	○		・お子様の療育については、事業所と保護者の方々の連携が第一と考えて、ご相談には迅速に具体的に対応しています。	・今後も保護者様からのご相談には、随時対応して参ります。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・予定表を毎月配布しています。	・今後も活動内容や行事予定、連絡体制等の情報をわかりやすく発信して参ります。
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		・お子様の個人情報資料に関しては、保護者様の同意の上、組織としての決裁後に関係機関に提出しています。	・個人情報の取扱いには十分注意をするよう職員には徹底していますが、今後も気を付けて参ります。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・連絡事項は記録として残るようになのでプリントを作成し視覚化し配布しています。分かりやすく作成するよう努めています。	

非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・行事において、地域の方々や関係機関の方々は少人数ですが招待しています。 ・今後は感染防止を踏まえた上で招待数を増やしていきます。	
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。 ・発生を想定した訓練も行っています。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・毎月、避難訓練を実施しており連絡帳でその様子をご覧いただいています。	・避難訓練について、保護者様へ十分なご説明をして参ります。
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		・服薬に関しましては保護者様から服薬の依頼があった場合、2人体制で確認と管理し保護者への連絡をしています。	
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			今後、アレルギーのあるお子様が来る事を想定し備えていくと考えています。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例検討会を行いスタッフ間で共有しています。 ・怪我等があった場合は共通ツールにて全スタッフで共有しています。	
	④⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・定期的に研修や勉強会の機会を設け、全職員が受講しています。	
	④⑧	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・毎朝の朝礼で虐待防止や身体拘束マニュアルの読み合わせを行っています。 ・保護者様に契約時、書面により承諾をしていただいています。	